

日本地球電気磁気学会会報（第98号）

1983年6月10日

日本地球電気磁気学会
〒113 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
(財)日本学会事務センター内
電話 03-815-1903

I 第73回総会ならびに講演会

第73回総会ならびに講演会は、4月25日～27日の3日間、電気通信大学のお世話により、電気通信大学B棟大教室及び講堂で開催された。26日午後には、電気通信大学新型レーザー研究センター長宅間宏教授による「最近のレーザー研究の現状」及び中沢清会員による「太陽系の起源」についての特別講演の後、鶴田会員を議長として、下記の次第で総会が開かれた（会員総数538，定足数179，出席者数92，委任状数93で成立）。

- (1) 開会の辞
- (2) 議長選出
- (3) 大会委員長あいさつ（芳野大会委員長）
- (4) 運営委員会報告（国分運営委員，Ⅱ項参照）
- (5) 田中館賞授与

第90号 内野修会員

エキシマレーザーによるオゾン層の観測

- (6) 田中館賞審査報告
- (7) 会長あいさつ（小口会長）
- (8) 議事
- (イ) 昭和57年度決算（Ⅲ項参照）
- (ロ) 昭和58年度予算（ “ ）

(イ)，(ロ)については本蔵委員より説明があり，原案通り承認された。

(ハ) 名誉会員の推薦

小口会長より，永田武会員〔第一期（1961—1962）委員長〕を名誉会員として推薦したい旨の提案があり，満場一致で承認された。

(二) 次期総会・講演会開催地の確認

前総会で提案されたとおり、第74回総会及び講演会の開催地は、名古屋大学空電研究所とし、期日は10月25、26、27日の3日間とすることが確認された。

(三) 次々期総会・講演会開催地の提案

福西会員より、第75回総会及び講演会を東京大学地球物理研究施設にお願いしたい旨の提案があり、地球物理研究施設を代表して玉尾会員より引受ける旨の発言があった。

(四) その他

気象庁柿岡地磁気観測所問題

常盤線輸送力強化や周辺の地域開発に関わる上記の問題については、前回の総会で問題提起され、その後小委員会で検討し、会長より気象庁に意見を具申した。これに対し、柿岡地磁気観測所前所長河村会員より謝意がよせられ、原田新所長により代読された。

(9) 謝辞

行武会員より参加者を代表して、今回の総会及び講演会をお世話下さった電気通信大学の方々に謝辞が述べられた。

II 運営委員会報告

4月24日、第124回運営委員会が開かれ、昭和57年度決算及び新年度の予算など討議が行われた。

(1) 学会々計及び名簿作成

57年度決算及び58年度予算についての議論が行われ、総会にはかる案が作成された。58年度は、会費の改定第1年次であるので、かねてから懸案の名簿作成を行う予算を計上することとした。名簿編集作成は、鶴田・福西・恩藤・飯島の4委員が中心となって行うこととし、前の名簿と同じ程度のものを作るようになった。なお、講演数の増加と印刷費の値上がりなどのため、予稿集の値上げが58年度中に行われることになる可能性がある。

(2) JGG出版状況

83年のNo.2が印刷中であり、82年に発行される予定であった、82年No.11とNo.12、及び83年No.1は、近々発送される予定。

Ⅲ 昭和57年度決算及び昭和58年度予算

昭和57年度決算

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
会 費	3,039,000	3,587,679
正 会 員	2,716,000	2,981,679
学 生 会 員	323,000	356,000
賛 助 会 員	0	250,000
出版助成金	7,197,000	5,685,000
予稿集売上代	1,050,000	865,500
利子収入	220,000	191,604
小計	11,506,000	10,324,783
前期繰越金	530,610	530,610
合計	12,036,610	10,855,393

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
管 理 費	2,050,000	1,944,779
業務委託費	1,650,000	1,632,699
通 信 費	180,000	141,980
印 刷 費	10,000	8,010
会 合 費	50,000	28,260
旅 費	150,000	114,800
雑 費	10,000	19,030
事 業 費	9,857,000	8,130,320
会誌{ 分担金	7,597,000	5,860,000
{ 発 送 費	500,000	459,190
{ 印 刷 費	100,000	96,200
{ 会報{ 発 送 費	160,000	151,250
{ 開 催 費	700,000	705,460
{ 大会{ 予稿集印刷代	800,000	858,220
予備費(選挙費用)	100,000	101,940
基金繰入金	0	250,000
小計	12,007,000	10,427,039
次期繰越金	29,610	428,354
合計	12,036,610	10,855,393

(特別会計)

田中館賞

収 入 の 部		支 出 の 部	
利子収入	26,734	賞 碑 費	1,600
前期繰越金	602,443	次期繰越金	627,577
計	629,177	計	629,177

長谷川基金

収 入 の 部		支 出 の 部	
利子収入	30,514	賞 碑 費	0
前期繰越金	661,999	次期繰越金	692,513
計	692,513	計	692,513

基 金

基金繰入金	250,000
前期繰越金	3,400,000
計	3,650,000

昭和58年度予算

収入の部

支出の部

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費	4,241,000	管 理 費	2,180,000
正 会 員	3,568,000	業 務 委 託 費	1,750,000
学 生 会 員	423,000	通 信 費	160,000
賛 助 会 員	250,000	印 刷 費	60,000
出版助成金	7,553,000	会 合 費	50,000
予稿集売上代	1,000,000	旅 費	150,000
利子収入	190,000	雑 費	10,000
小 計	12,984,000	事 業 費	10,273,000
前期繰越金	428,354	会費{分担金	7,733,000
合 計	13,412,354	{ 発 送 費	500,000
		{ 印 刷 費	150,000
		{ 発 送 費	240,000
		{ 開 催 費	700,000
		{ 予稿集印刷代	950,000
		予 備 費(名簿)	700,000
		基 金 繰 入 金	250,000
		小 計	13,403,000
		次 期 繰 越 金	9,354
		合 計	13,412,354

Ⅳ 新 入 会 員

第123回及び第124回運営委員会で承認された新入会員は、下記の12名である。(※印学生会員)

中 埜 岩 男 (海 洋 科 学 技 術 セ ン タ ー)	小 山 茂 (東 大 地 震 研)
※加 藤 正 明 (日 大)	関 谷 実 (京 大 理 ・ 物 理)
※林 文 雄 (山 形 大)	原 田 朗 (地 磁 気 観)
※領 木 邦 浩 (秋 田 大)	※久 保 俊 一 (東 工 大 ・ 理)
小 玉 一 人 (高 知 大 ・ 理)	※清 水 誠 (東 工 大 ・ 理)
※木 川 栄 一 (東 大 海 洋 研)	※渡 辺 俊 文 (東 工 大 ・ 理)

Ⅴ 田中館賞審査報告

エキシマレーザレーダーによるオゾン層の観測 内 野 修 会 員

大気中のオゾンは微量ではあっても太陽光の中の紫外線を有効に吸収して、地上の生物を保護する上で極めて重要な役割を果していることはよく知られている。オゾン量、およびその高度分布の

測定は、従来各種の方法が行なわれているが、オゾンの高度分布を連続的に精度よく測定するという目標からみると、いずれの方法もいまだ不十分で、新測定法の開発が急務とされている。本研究では、エキシマーレーザーを使って地上から連続的にオゾンの高度分布を測定する方法を開発し、ウムケール法やオゾンゾンデの観測結果と比較して、エキシマーライダーが高度15 Km～25 Kmの間で高度分解能1～3 Km、精度10～20%で測定可能であって、従来の地上観測方法より優れ、オゾンゾンデによる直接測定に匹敵することを明らかにした。また、高度15 Km以下ではラマンレーザを併用することによって測定が可能になり、高度4～25 Kmの測定ができるようになった。これらの結果はエキシマーライダーによるオゾン層の観測を実用的な段階まで発展させたもので超高層大気物理学に貢献するところが大きい。

VI 講演申込みと予稿の書き方

これまでの講演申込み用紙、予稿原稿用紙がなくなったので、これを期に、申込みの形式をかえ、予稿原稿は2列に書くようにした。

VII 第74回総会及び講演会

秋の学会は名古屋大学空電研究所のお世話により下記の通り開催されます。

1. 期日 昭和58年10月25日(火)～27日(木)の3日間
2. 会場 豊川市勤労福祉会館

VIII 第9回レーザーレーダシンポジウム案内

レーザーレーダ研究会主催、本学会協賛で行われます。

日時： 昭和58年11月10日・11日

場所： もみじ荘(栃木県塩谷郡塩原温泉)

内容： レーザーレーダ(広い意味のレーザー計測を含め)の機器の開発と各種の応用

参加費： 4000円(予稿代を含む)

講演申込締切：昭和58年8月1日

申込・問い合わせ先：〒184 小金井市貫井北町4-2-1

電波研究所 五十嵐隆 (TEL 0423-21-1211)

IX 第27回宇宙科学技術連合講演会案内

下記の要項で講演募集を行います。皆様の熱心な御参加をお願い致します。

共催(予定)：強化プラスチック協会、軽金属学会、計測自動制御学会、生命の起源および進化学会、電気学会、電子通信学会、日本化学会、日本機械学会、日本地球電気磁気学会、

日本航空宇宙学会(幹事学会)

企 画：宇宙航行，機器，空気力学，構造，材料，電子機器，ロケット各部門委員会

開催日時：昭和58年10月24日(月)～26日(水)

会 場：国立教育会館

〒100 千代田区霞ヶ関3-2-3

TEL (03) 580-1251

講演内容：宇宙科学および宇宙技術に関する研究であって、すでに発表されているものであってもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。他分野、隣接領域との関連を念頭において発表することを期待する。なお、本講演会の趣旨にそぐわないものは、講演を辞退していただく場合がある。

講演時間：20分(討論を含む)

申込要領：講演申込者はA4判原稿用紙に「第27回宇宙科学技術連合講演会講演申込」と明記し

1) 講演題目

2) 講演者(氏名，所属学会，勤務先，連名の場合には講演者に○印)

3) 講演概要(200字以内)

4) スライド(35mm)，OHP，16mm映画，使用の有無

5) 講演希望セッション名(下記より第二希望まで指定する。但し，プログラム編成の都合上，変更する場合もある。)

①宇宙科学，②空気力学，③材料，④構造，⑤機器，⑥電子機器，⑦ロケット推進・推進剤，⑧ロケットシステム，⑨誘導・制御，⑩宇宙航行力学，⑪衛星システム，⑫リモート・センシング，⑬宇宙実験

申込宛先：日本航空宇宙学会「第27回宇宙科学技術連合講演会」係

〒105 港区新橋1-18-2 航空会館分館

TEL (03) 501-0463

申込締切：昭和58年7月9日(土)

講演前刷：前刷原稿はゼロックス印刷にするため，講演者に送付される所定の原稿用紙で2枚(1,292字/枚)以内とする。

前刷原稿締切：昭和58年8月31日(水)

前刷原稿宛先：日本航空宇宙学会「第27回宇宙科学技術連合講演会」係

〒105 港区新橋1-18-2 航空会館分館

TEL (03) 501-0463

<< シンポジウム >>

下記主題によるシンポジウムを予定しています。

- 主題： 1. 衛星搭載推進系
2. 再突入および回収技術
3. 温度環境に対応する宇宙材料工学

参加登録費：1,000円

X 昭和58年度国際通信研究奨励金

(財)KDD エンジニアリング・アンド・コンサルティングより推薦依頼がきています。申込締切は昭和58年7月10日です。応募希望者は会長または当学会総務まで問合せ下さい。

XI 人事公募案内

宇宙科学研究所より下記の通り助手公募要項が発表されています。

公募人員：助手1名

所属部門等：共通基礎研究系宇宙空間原子物理学部門。

同部門には、教授高柳和夫、助教授市川行和、助手崎本一博が在任中。原子分子過程の理論的研究と、その宇宙科学への応用(必要なデータの収集・評価等を含む)に意欲をもつ若い人を求めます。現在までの専門分野は問いません。

着任時期：決定後なるべく早い時期。

必要書類：(1)略歴、(2)研究歴、(3)論文リストおよび主要論文別刷各1部、(4)着任後の研究に対する抱負、(5)他薦の場合は推薦書、自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先。

締切：昭和58年8月20日(土)

宛先：宇宙科学研究所 所長 森 大吉郎

〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

電話 (03) 467-1111

問合せ先：不明の点の問合せ、および資料の請求は下記あてに願います。

宇宙科学研究所 高柳和夫 内線355

選考：選考は宇宙科学研究所運営協議員会議において行います。応募者中に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

その他：封筒に「助手応募(推薦)書類在中」と朱書して下さい。

XII 会員名簿作成のためのアンケートのお願い

第73回総会の議に従い、会員名簿を作成することになりました。名簿の形式は、1978年版に

会員番号，専門分野を追加したものになる予定です。なお，名簿作成には多額の費用がかかりますので，できるだけ，会員各位の御協力を得て，学会財政への負担を軽くしたいと考えております。つきましては，大変お手数ですが，末尾ページのアンケート回答用紙に御記入の上，下記宛お返送下さいますよう，お願いいたします。

送付先 〒113 東京都文京区弥生 2-4-16

学会センタービル内

日本学会事務センター

日本地球電気磁気学会 宛

締切り 6月30日

なお，名簿作成に関するお問い合わせ，御意見は，名簿担当運営委員（鶴田，佐藤（哲），福西，恩藤，広岡）に御連絡下さい。

名簿作成用アンケート回答用紙

氏名(漢字)

ローマ字

英文論文で使用されている
表記をお書き下さい。

学 歴

_____ 大学 _____ 学部 _____ 年卒(西歴)

_____ 大学大学院^(M) _____ 課程 _____ 年卒(//)

_____ 大学大学院^(D) _____ 課程 _____ 年卒(//)

専門分野

岩石磁気, 磁気圏物理, 電波天文, 程度の分類をお願いします。

勤務先

名 称

住 所

部 局

電話番号

自 宅

郵便番号

住 所

電話番号
